

2. 指標設定

成果指標	指標名	文化財の保護・歴史伝統文化の保全に対する	目標年度	H27	指標の設定理由				
	数値	34%以上			総合計画／後期基本計画において、基本施策(5-2-1)の目標としているため				
活動指標	指標	a	史料整理・公開数	b	所蔵史料の常設展示回数	c	調査研究の企画展示回数	d	講座・業務支援実施回数(H25年度から)
	数値	目標	—	目標	—	目標	1回以上	目標	前年度並みの実施回数

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
文化財の保護・歴史伝統文化の保全に対する市民の満足度		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 史料整理・公開数	件	— 件	1 件	5 件
b 所蔵史料の常設展示回数	回	1 回	1 回	1 回
c 調査研究の企画展示回数	回	—	—	5 回
d 講座・業務支援実施回数(H25年度から)	回	—	34 回	71 回

4. 課題と対応

課題
ジオパークの認定を受け拠点施設となったが、施設が小規模で、常設展示空間・企画展示空間が狭い。学校や各種団体から講座・講演・支援要望が殺到している。対応できる職員の養成が急務である。
対応（改善点等）
常設展示室・企画展示室の展示替えを行い、観覧者が見やすいように配慮した。講座・講演要望は、職員に振り分け実施した。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

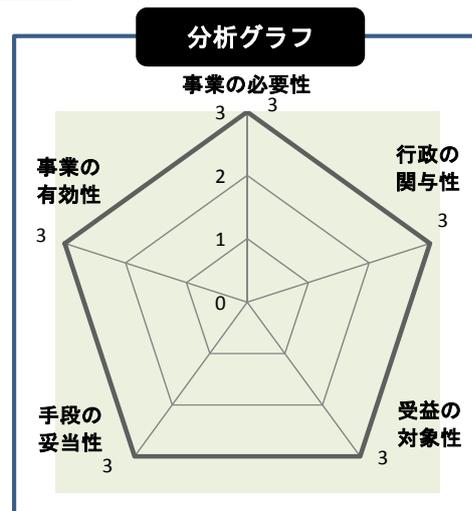
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		5,535	5,920	6,588	7,016
		5,263	2,940	6,588	7,016
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	45	44	38	2
	一般財源	5,490	5,876	6,550	7,014
うち経常		5,263	2,896	6,550	7,014
事業費に係る人件費		10,320	8,158	8,282	8,871
事業費に係る人役		2.40	1.90	1.90	2.00

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
資料館運営でこれ以上の経費削減は困難であるため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 歴史資料館としての従来の役割に加え、ジオパーク拠点施設として期待されている。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 行政の必須事項である。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民に享受できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 前年度を下回らない活動回数をこなしている。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 前年度を大幅に上回る活動回数である。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	効果的な事業を実施し、適切な運営を行うこと。